

有識者会議における意見への 対応状況

- ① 道内各地域毎の感染状況・病床使用率を明示
- ② 入院患者数と病床数のグラフに入院調整中の数値を追加
- ③ 検査・医療提供体制の現状を明示
- ④ 中和抗体薬（抗体カクテル）の活用状況を記者会見で発信
- ⑤ 対策実施のタイミングと感染状況・人流のグラフ化
- ⑥ ワクチン接種歴別の感染者数の状況を記者会見で発信
- ⑦ 60代以上の感染者数の推移について記者会見で発信
- ⑧ ツイッターでの情報発信内容の変更

①道内各地域毎の感染状況・病床使用率を明示

全道の感染状況等

1 新規感染者数

	空知	石狩 (札幌除く)	札幌市	後志 (小樽除く)	小樽市	胆振	日高	渡島	檜山	上川 (旭川除く)	旭川市	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
8/12 ～ 8/18	86	254	1,794	12	38	109	17	149	1	41	242	3	8	42	152	110	15	68	3,141
8/19 ～ 8/25	71	264	2,012	37	42	130	18	146	2	41	416	12	15	70	170	72	47	55	3,620
先週比	0.83	1.04	1.12	3.08	1.11	1.19	1.06	0.98	2.00	1.00	1.72	4.00	1.88	1.67	1.12	0.65	3.13	0.81	1.15

※「居住地」により整理。なお、居住地非公表として発表した者等は、各振興局等に含めて計上。
※振興局別の感染状況は、変動が大きくなる場合があることに留意。

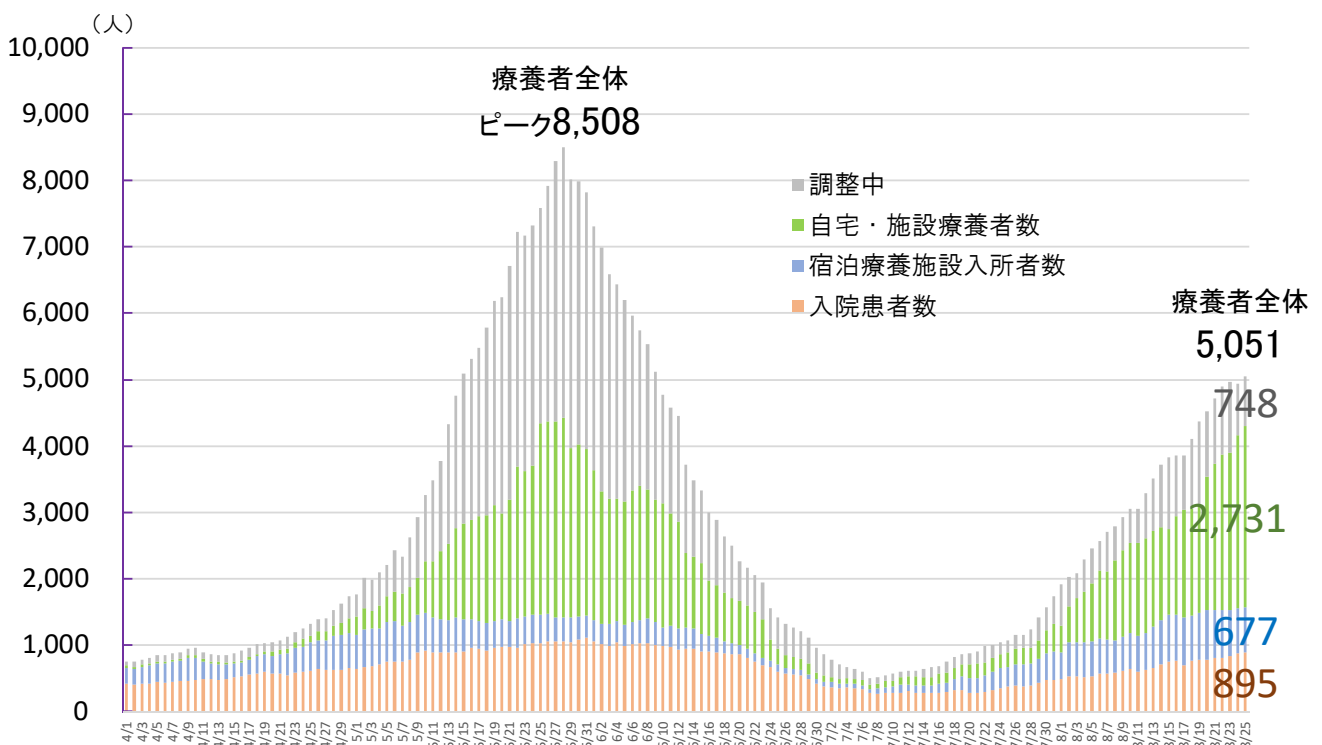
2 病床使用率

	道央圏	道北圏	道南圏	十勝圏	オホーツク圏	釧路・根室圏	全道
8/25	50.0%	43.0%	46.6%	41.1%	25.4%	33.2%	44.9%

※圏域別の感染状況は、変動が大きくなる場合があることに留意。

②入院患者数と病床数のグラフに入院調整中の数値を追加

医療提供体制等の負荷 (療養者全体)(全道)



※「調整中」は、入院、宿泊療養、自宅療養、施設療養といった対応を調整している人数で、翌日以降、入院や宿泊療養などの対応が確定するもの。

③検査・医療提供体制の現状を明示

検査・医療提供体制の状況 (R3.8.25現在)

- 診療**
 - 発熱者等診療・検査医療機関(発熱外来) **879カ所**
- 検査**
 - 地域外来・検査センター(検体採取) **17カ所**
 - 検査機関 **道衛研、道立10保健所、各市(札幌・旭川・函館・小樽)の保健所のほか、医療機関、民間検査機関等**
- 医療**
 - 確保病床 **1994床**
 - 臨時医療施設 **1カ所(札幌市内)**
 - 入院待機ステーション **1カ所(札幌市内)**
 - 宿泊療養 **宿泊療養施設 11棟 2385人**
- 周産期**
 - ▶3医育大学や周産期母子医療センターと連携し、感染症患者の分娩や産科的リスクが高い患者にも対応
- 自宅療養**
 - ▶医師が入院の必要性を判断した上で自宅療養をされる方に対し支援
 - 主な支援内容
 - 保健所による健康観察の徹底
 - パルスオキシメーターの貸与
 - 医療機関による訪問診療等の確保
 - 食品や日用品セットの配布

④中和抗体薬(抗体カクテル)の活用状況を記者会見で発信

中和抗体薬の迅速な活用



⑤対策実施のタイミングと感染状況・人流のグラフ化

対策実施のタイミング(令和2年11月)

(1) 令和2年11月

- 10月28日、道の警戒ステージを「ステージ2」へ移行し、基本的な感染防止対策を要請。

感染者数 10月27日 <道>291人(5.5人)

人流 10月28日以降、夜間(20時)の人流は減少し、11月6日には14.7%減(10月27日比)

- 11月7日、すすきの地区に対する飲食店等への時短を要請(22時まで)。

感染者数 11月6日 <道>626人(11.8人) <札幌市>468人(23.9人)

人流 11月7日以降、夜間(20時)の人流は減少し、11月16日には21.0%減(11月6日比)

- 11月17日、札幌市内全域で外出自粛の要請。

感染者数 11月16日 <道>1462人(27.6人) <札幌市>964人(49.3人)

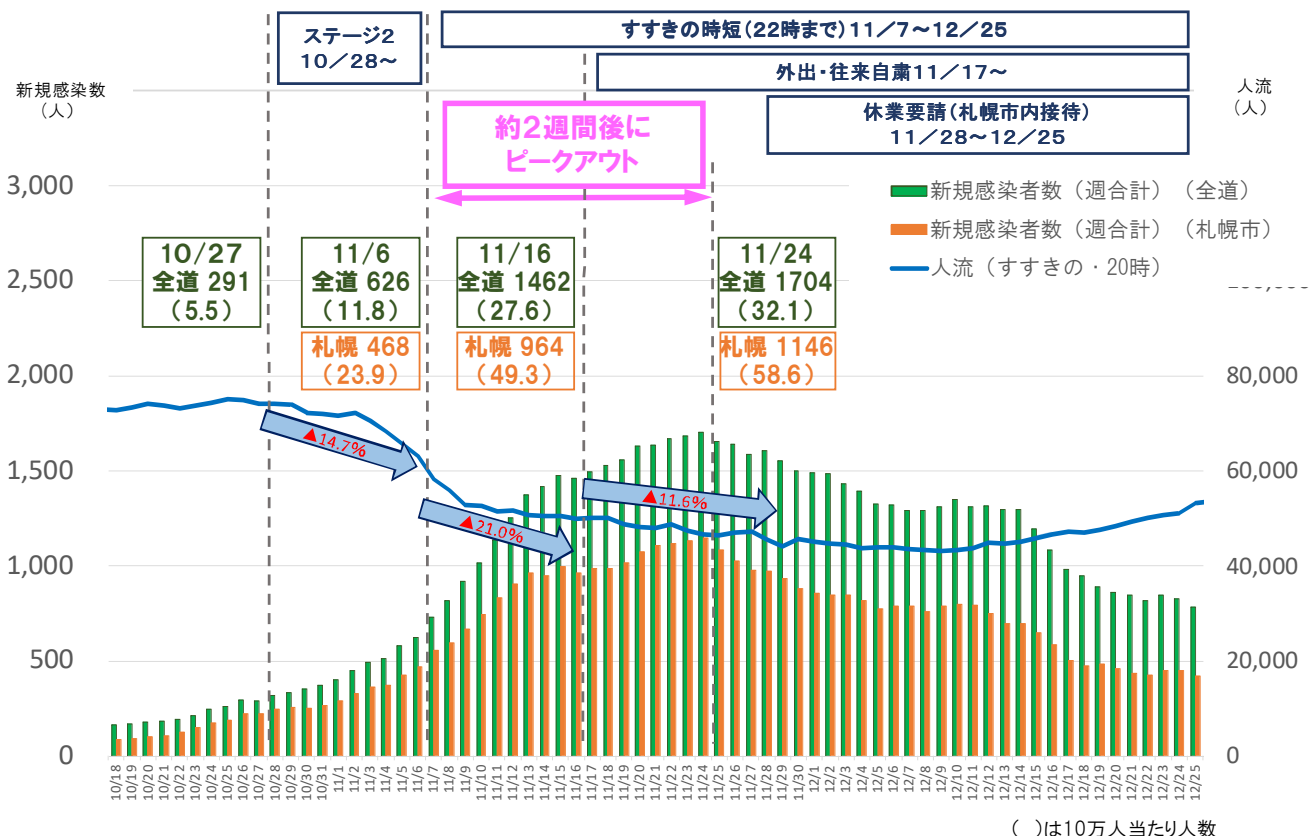
人流 11月17日以降、夜間(20時)の人流は減少し、11月29日には11.6%減(11月16日比)

⇒11月24日をピークに全道及び札幌市の新規感染者数は減少。

時短から約2週間後、外出自粛から約1週間後

※ **感染者数** は、対策決定時の新規感染者数(週合計)、括弧内は10万人当たりの数、**人流** の減少率は期間内における最大値

感染状況(全道/札幌市)と人流 (令和2年10月~12月)



対策実施のタイミング(令和3年4月～5月)

(2) 令和3年4月～5月

○ 3月27日、札幌市内全域で、感染リスクを回避出来ない場合の外出自粛を要請。

感染者数

3月25日 <道>429人(8.1人) <札幌市>288人(14.7人)

人流

3月27日以降、夜間(20時)の人流は減少し、4月6日には13.3%減(3月26日比)

⇒外出自粛要請後、札幌市内の新規感染者数は横ばいで推移。

○ 4月24日、市内全域で外出自粛を要請。4月27日、飲食店等への時短を要請(21時まで)。

感染者数

4月22日 <道>766人(14.4人) <札幌市>613人(31.3人)

人流

4月24日以降、夜間(20時)の人流は減少し、5月3日には9.9%減(4月23日比)

○ 5月6日、市内全域で飲食店等への時短を強化(20時まで)。

感染者数

5月4日 <道>1493人(28.1人) <札幌市>1150人(58.8人)

人流

5月6日以降、夜間(20時)の人流は減少し、5月8日には13.8%減(5月5日比)

○ 5月9日、まん延防止等重点措置を実施。

感染者数

5月7日 <道>1602人(30.2人) <札幌市>1210人(61.9人)

人流

5月9日以降、夜間(20時)の人流は減少し、5月15日には12.5%減(5月8日比)

○ 5月16日、緊急事態措置の実施。

感染者数

5月14日 <道>3573人(67.4人) <札幌市>2350人(120.2人)

人流

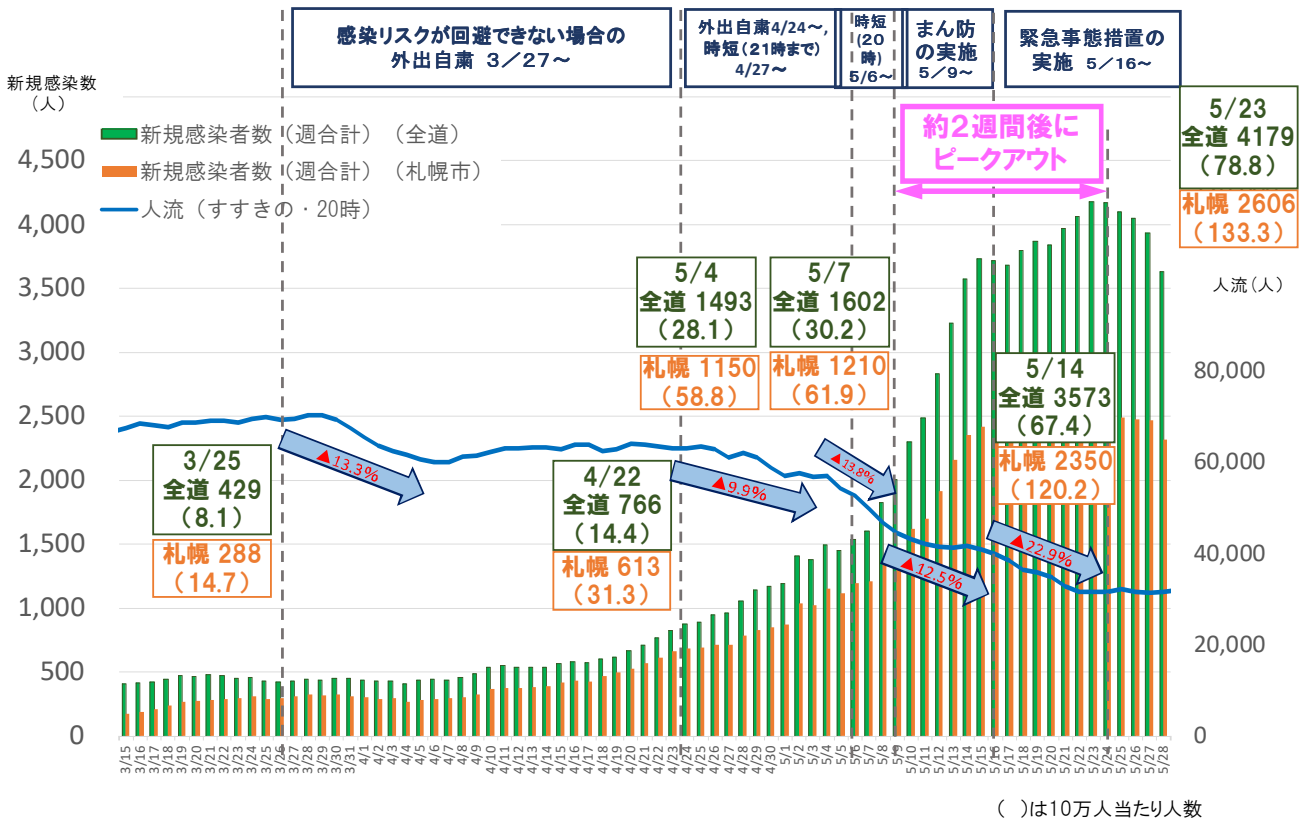
5月16日以降、夜間(20時)の人流は減少し、5月23日には22.9%減(5月15日比)

⇒5月23日をピークに全道及び札幌市の新規感染者数は減少。

まん延防止等重点措置から約2週間後、緊急事態措置から約1週間後

※ 感染者数は、対策決定時の新規感染者数(週合計)、括弧内は10万人当たりの数、人流の減少率は期間内における最大値

感染状況(全道/札幌市)と人流 (令和3年3月～5月)



対策実施のタイミング(令和3年7月～8月)

(3) 令和3年7月～8月

○ 8月2日、札幌市内を対象とした、まん延防止等重点措置を実施(時短20時まで)。

感染者数 7月30日 <道>1243人(23.4人) <札幌市>799人(40.9人)

人流 8月2日以降、夜間(20時)の人流は減少し、8月19日には21.5%減(8月1日比)

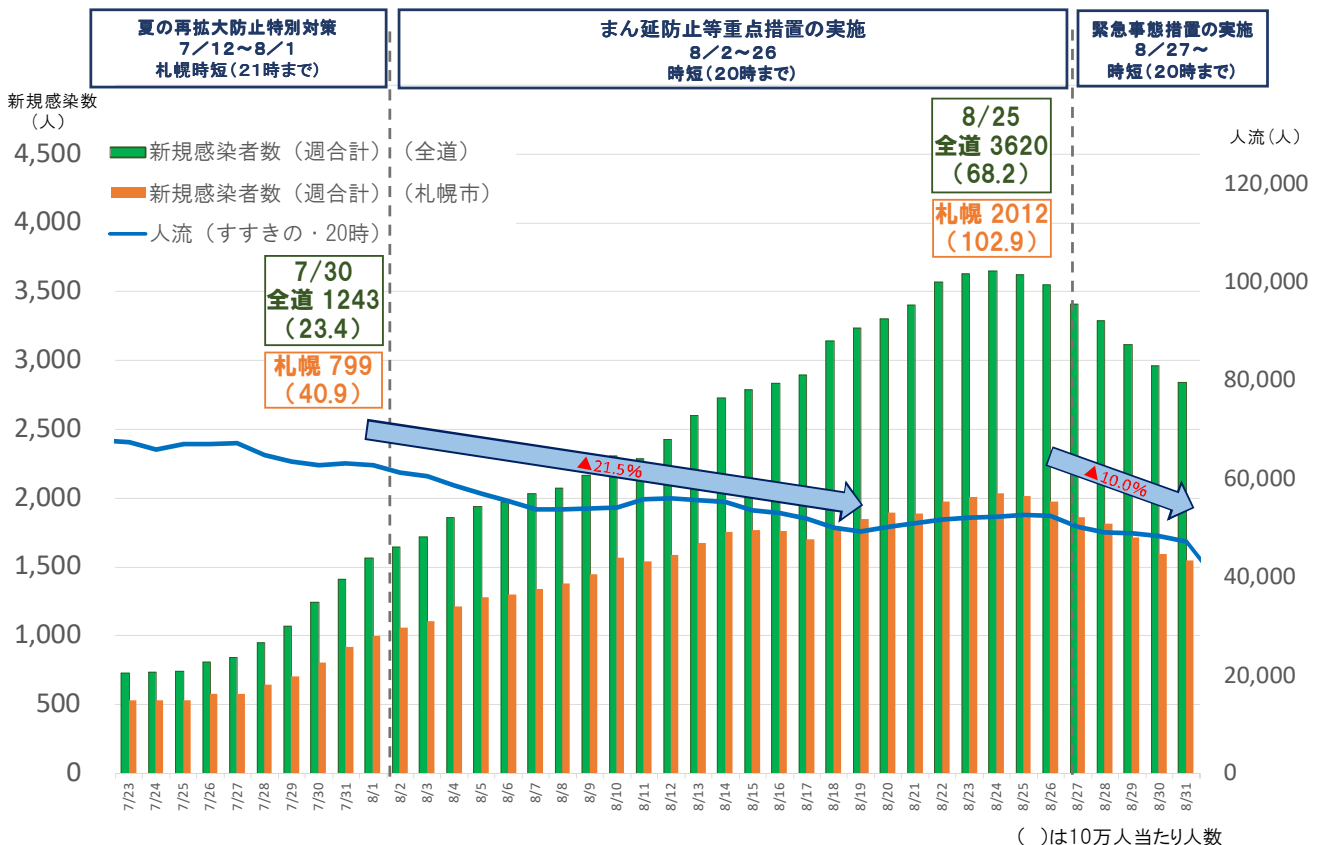
○ 8月27日、緊急事態措置の実施(時短20時まで)。

感染者数 8月25日 <道>3620人(68.2人) <札幌市>2012人(102.9人)

人流 8月27日以降、夜間(20時)の人流は減少し、8月31日には10.0%減(8月26日比)

※ **感染者数** は、対策決定時の新規感染者数(週合計)、括弧内は10万人当たりの数、**人流** の減少率は期間内における最大値

感染状況(全道/札幌市)と人流 (令和3年7月～8月)



⑥ ワクチン接種歴別の感染者数の状況を記者会見で発信

ワクチン接種歴別 感染者数

全国 8/18～20(3日間分)の10万人当たり

※接種歴不明の者を除く



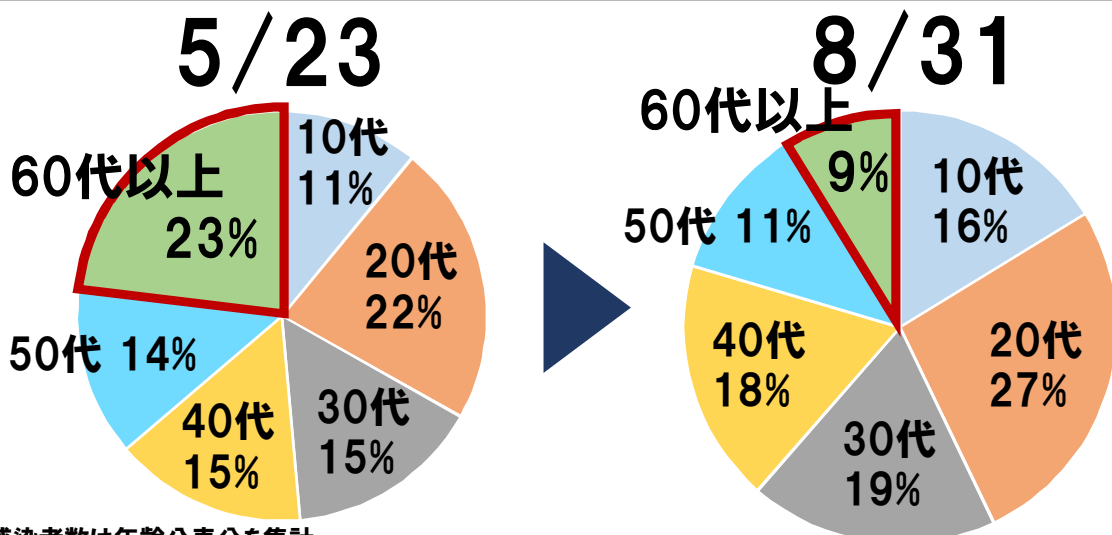
※厚労省「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料(8/25)」を基に北海道作成

⑦ 60代以上の感染者数の推移について記者会見で発信

新規感染者の年代別割合

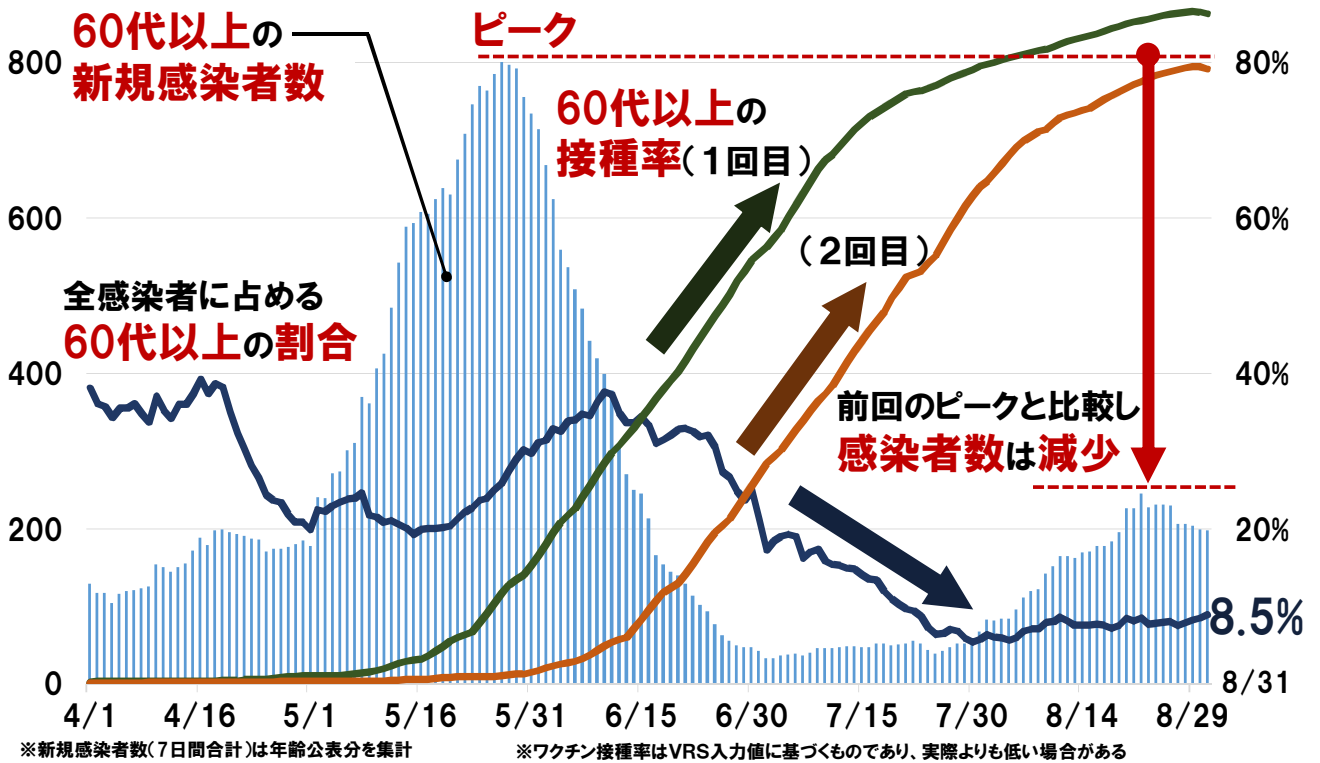
(7日間合計)

60代以上の割合が大きく減少



※新規感染者数は年齢公表分を集計

60代以上の感染者数の推移



⑧ ツイッターでの情報発信内容の変更

道公式ツイッターでの感染情報の発信について、

「延べ感染者数(〇〇～〇〇例目)」から「1日の感染者数」に変更

